

IoT 化で競争力ある自社製品を開発したい企業様に

1カ月でできる 製品のIoT化

アルドネットのIoTソリューションシステム

AMON[®]

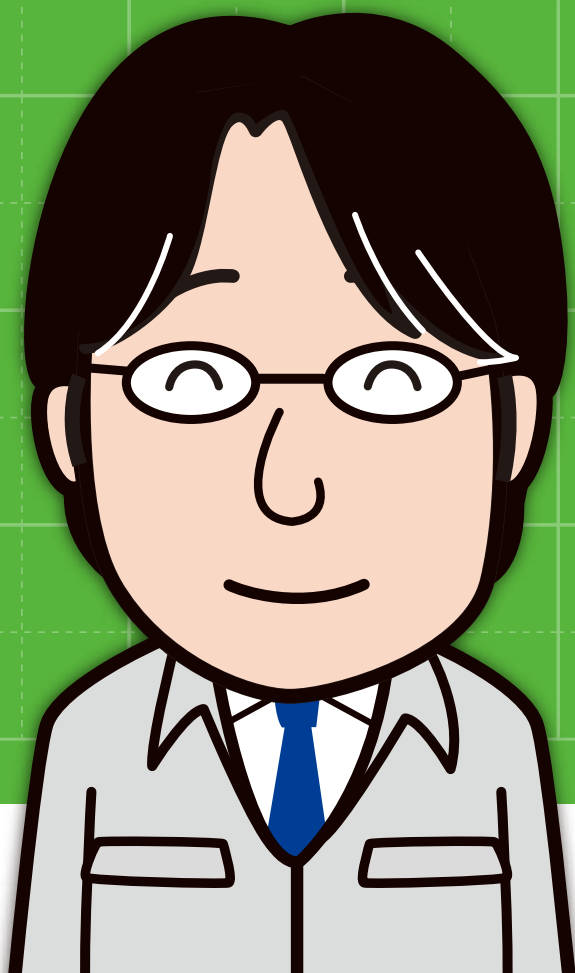
アモン

少ない予算からでも始められる！

CALENDAR



スピーディに試作品を作成！



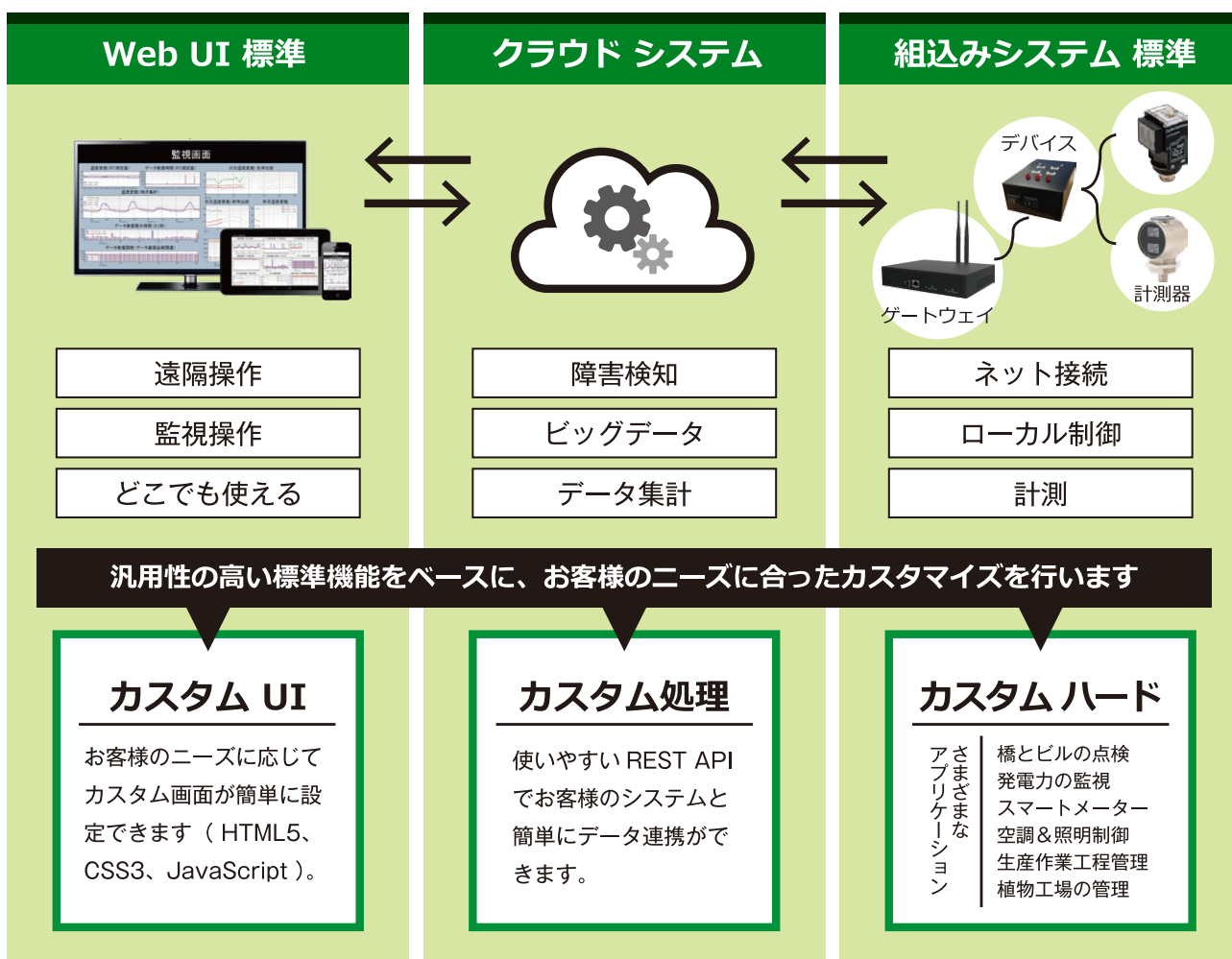
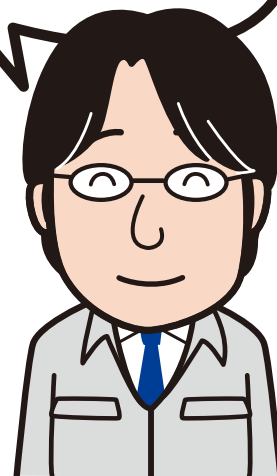
アルドネットは試作品を素早く開発、 自社製品のIoT化をスピーディーに実現。

自社でこれまで販売してきた既存の商品を、**現在の規格を変更することなく、モバイル対応のIoT商品にすることができます。**

たとえば、事業者さまのクラウドシステムを外注に開発依頼すると、大きなコストと時間がかかります。さらに、外注のために新しいシステムの要求仕様詳細を事前に確定する必要があります。しかし、全く新しいサービスなので事前に詳細仕様を確定することは非常に困難です。となると、ステップ・バイ・ステップのアプローチが必要になります。

アルドネットが独自開発した **AMON IoT クラウドプラットフォーム**には、**汎用性の高い標準機能が搭載されています**（データ収集、障害検知、警報通知、データ集計、データ分析、データ表示標準等）。新商品開発までに必要な作業は、オリジナル機能の実装とシステム結合です。当社のエンジニアチームのサポートにより、**数週間でプロトタイプを作成することができ、数ヶ月で商品を完成させることが可能**です。

試作品がすぐに作れて、
製品開発のスピードが
ぐんとアップします！

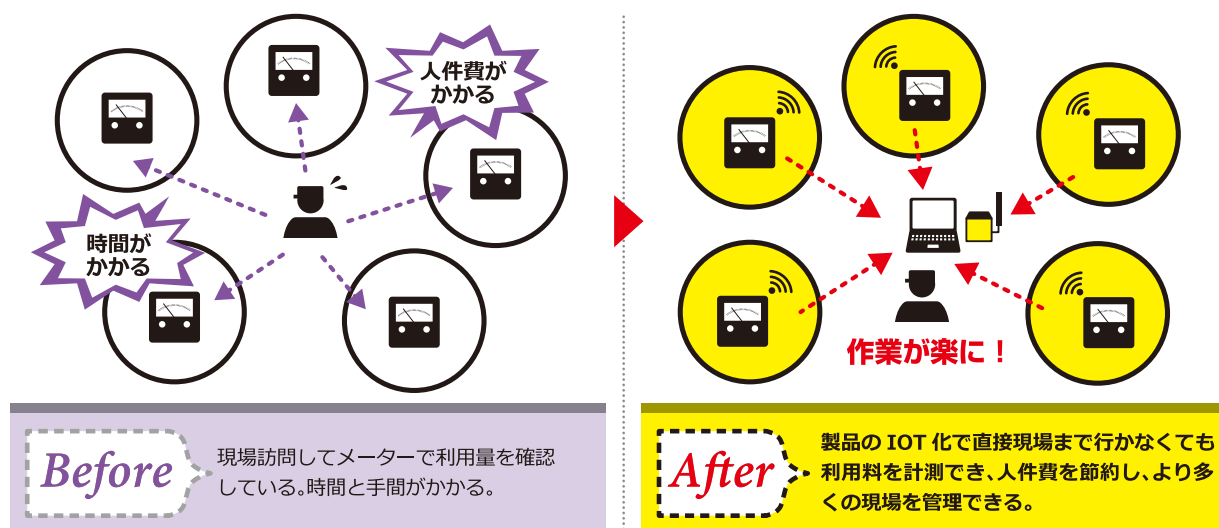
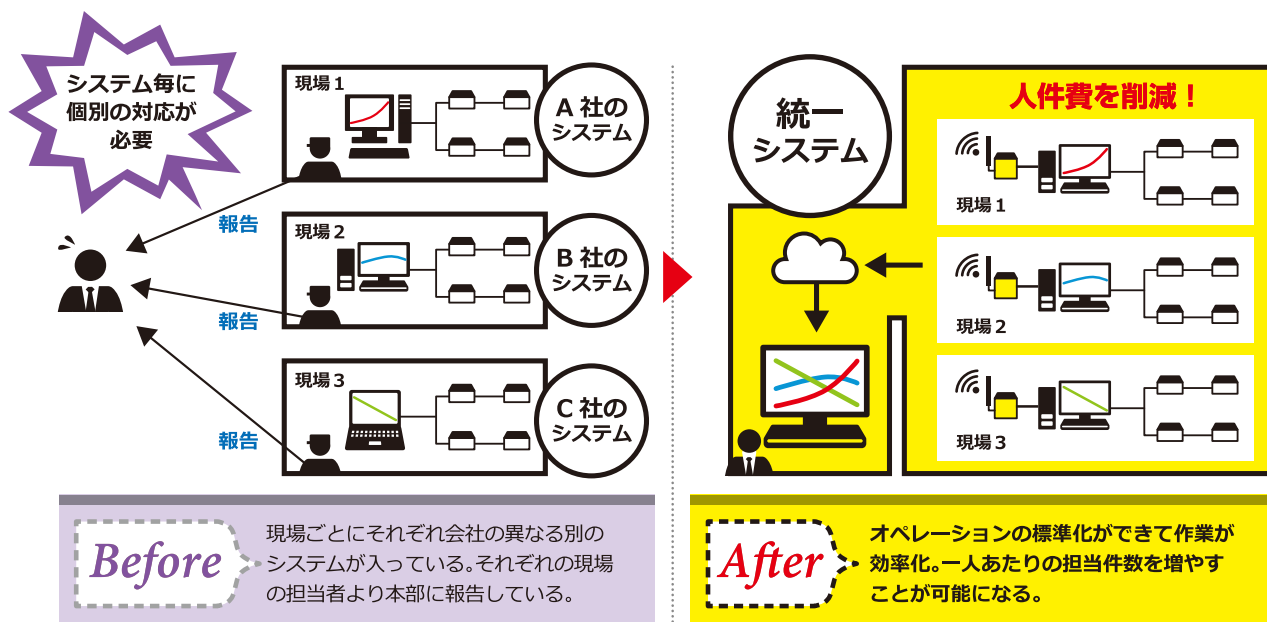


アルドネット自社製品を IoT 化する メリットとは？

アルドネットの AMON 技術は、IoT ソリューションに必要な**基本機能は開発済みで実装されており、導入時に必要なのはカスタム部分のみの開発**なので、**短期間で完成版をご提供**できます。

AMON 標準搭載の IoT 機能

データ収集・データ集計・グラフ表示・監視画面のエディター・警報表・警報通知メール・自動データ処理（ジョブ）・デバイス管理用のウォッチドッグ・データ連携用ウェブ API など



製品に付帯できるセンサー、ネットワーク機能（例）

センサーの機能					ネットワーク規格		計測器
圧力	温度	湿度	照度	人感	920MHz	LAN	組込 Linux
震度	電流	重量	ガス	無線	4G・LTE	Bluetooth	マイコン(OS なし)

AMON を使った商品開発の流れ



1 概念実証

商品開発部と相談し IoT 商品の要求・目標を明確にします。次の段階に進むため目指している機能に集中して概念実証を行います。1 か月（短期間）で行うので仕様に不足もありますが、主な機能の目標の達成は実現できます。そして製品までの課題の洗い出しを行います。（要求の明確化→目標設定→主な機能の目標実現→製品化までの課題）



2 製品化

要求詳細が明確になれば実装を行います。アプリケーション画面の追加や既存システムとのデータ連携、細かいスペックの対応です。（無線通信の距離・バッテリー省電力・セキュリティ・データ表示方法・データ取得方法など）

新機能を毎月導入することで、進捗管理や評価をしていただけます。開発途中の変更や追加も対応いたします。



3 現場へ導入

製品化したもの（商品候補）を現場に導入し最終テストを行います。その際私たちはお客様とコミュニケーションをしっかりと行い、不具合や不足点を明確にして改善し、バージョンアップを行います。全てのチェックポイントを確認し、次のステップへ移ります。



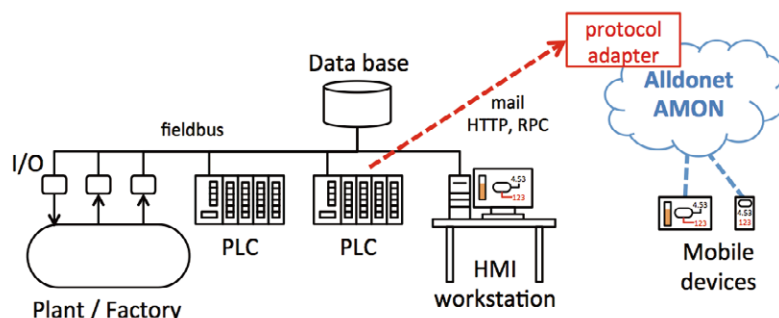
4 販売・サービス開始

表示や機能をお客様の業務に合わせてカスタマイズを行い、専用アプリケーションを作成します。作成したアプリケーションの管理画面はインターネットブラウザで閲覧・操作します。そのため現状使用している PC やスマホなどのモバイル機器から簡単にアクセスできます。

現場やシステムのIoT導入を容易にする 既存フィールドバスのクラウド化 4つの実践的な方法

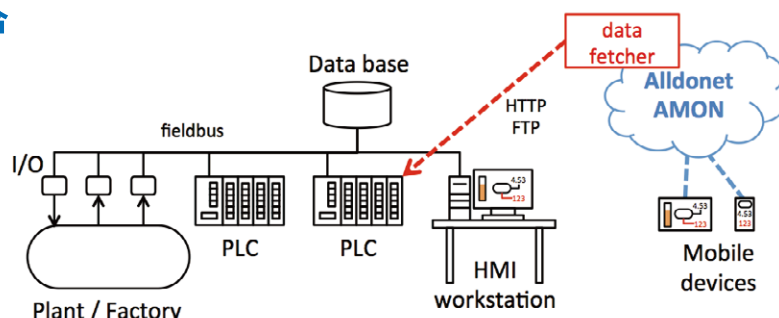
既存システムにインターネット上のデータ発信機能がある場合

既存システムのメッセージを理解するため、AMON に「プロトコル アダプター」のモジュールを追加します。接続方法は電子メール (SMTP)、ウェブリクエスト(HTTP/HTTPS)、またはリモート プロシージャ コール (RPC) です。



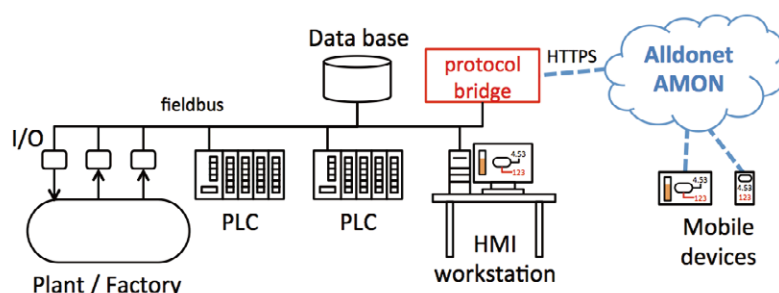
既存システムにインターネットから接続可能なウェブ サーバー機能がある場合

既存システムのウェブサーバーと接続し、データ取得とコマンド発行ができるように、AMON を設定します。接続方法はウェブ リクエスト(HTTP/HTTPS)とファイル転送 (FTP/FTPS) です。



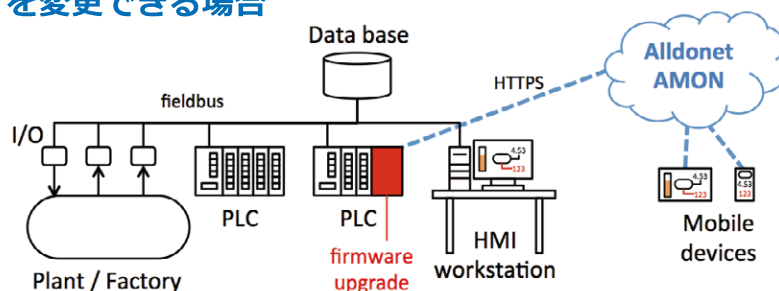
現場にプロトコル変換のモジュールを設置できる場合

アルドネットはプロトコル変換モジュールを提供します。そのモジュールは現場のフィールドバスと AMON の間に通信ブリッジを提供します。接続方法はセキュアなウェブ リクエスト(HTTPS)です。



クラウドと通信するために、メーカーが親機のファームウェアを変更できる場合

アルドネットはメーカーの開発チームに AMON の取り扱い方法を説明します。そして、メーカーの開発チームは自社の組み込みシステムを簡単にクラウド接続できます。接続方法はセキュアなウェブ リクエスト (HTTPS) です。



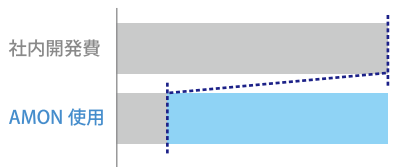
IoT サービスプラットフォーム AMON[®]



AMON は SaaS (Software as a Service) として、アルドネットのウェブサービスをインターネット上で提供しております。対応しているブラウザであれば、サービスのすべての機能をウェブブラウザ上で使うことができ、アカウントの登録で、アルドネットのシステムを使ってオリジナルの IoT ソリューションが作成できます。

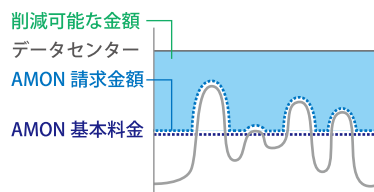
アルドネットの AMON には汎用性の高い標準機能が搭載されており、迅速にプロトタイプを作成することができ、簡単・短期間で IoT 導入が実現できます。導入後は、作業工程の管理やメンテナンス作業がパソコン、スマホやタブレットで操作でき、業務効率の改善に大いに役立ちます。導入後もお客様のサポートを行い、新たなニーズにも対応させていただきます。アルドネットの技術は、製造業や電力発電(太陽光発電)、インフラのメンテナンス、ビルエネルギー管理システム(BEMS)、さらに農業にも活用されています。

市場に出るまでの時間を短縮



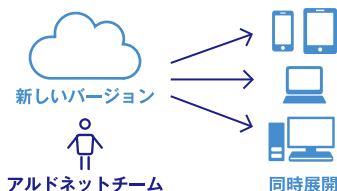
豊富な利用可能な初期機能が初日からお使いいただくことができます。社内の限られた人材だけで制作される場合と比較すると、劇的に市場に出るまでの時間を削減することが可能になります。

規模に合わせて変更可能な価格設定



サービスの基本料金と、実際に発生した追加の使用量に対して請求されます。仮にデータセンターを社内の IT システムで運用する場合と比較すると、長期に渡る大幅なコスト削減に繋がります。

インストール不要



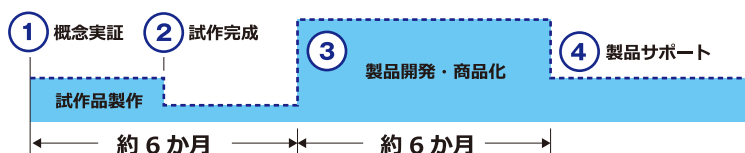
AMON のすべてのサービスのアップグレードは、瞬時にすべてのクライアントデバイスで行われます。どちらのユーザーが、どのバージョンを使用しているかといった心配をする必要はありません。

OEM 対応



私たちは事業者さまの IoT イニシアチブのバックオフィスになる準備ができています。クラウド側のオペレーションを管理していくため、お客様は専門知識の心配がなく、自社のビジネスに専念できます。

AMON を導入した場合の費用イメージ



- ① 概念実証を行い2~3か月でプロトタイプに推進
- ② プロジェクト関係者へ推進
- ③ 製品化の開発に入り AMON 機能の不足部分をカスタム開発やシステム結合開発を行い商品化する
- ④ 販売開始以降はサポート費用のみのご請求になります。



アルドネット株式会社

大阪府堺市北区長曾根町
130-42 S-Cube 211号 〒591-8025

<https://www.alldonet.com>

TEL / FAX 072-242-6328 MAIL contact@alldonet.com

